

イヌ？ネコ？キツネ？のしっぽ

秋風にそよぐ猫じゃらし、多くの人が幼少の頃に一度は遊んだことがあるのではないのでしょうか。今回はエノコログサについて特集します。

ねこじゃらしの本名はエノコログサ、漢字で表記すると“狗尾草”、その名の通り、あのフサフサした花穂が犬の尾のようであることからきているそうです。“ねこじゃらし”という呼び名は、ネコの前で振るとネコがじゃれついて遊ぶことからきています。

実は、エノコログサは英語で“green foxtail”（緑のキツネのしっぽ）と呼ばれます。あのフサフサした穂から動物のしっぽを連想してしまう感覚は、万国共通のようです。

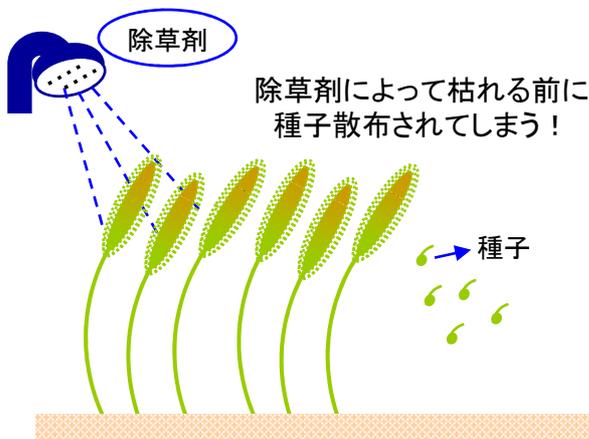


アキノエノコログサ・・・?



キンエノコ

種子形成後に防除すると・・・



刈り取り・集草の際に
種子を撒き散らしてしまう！



種子形成前の防除が重要！

エノコログサは一年生のイネ科雑草で、様々な種類があります。

最も一般的と思われる緑色の猫じゃらしは、おそらくアキノエノコログサかエノコログサのどちらかであると考えられます。この2種を見分ける代表的な特徴は、エノコログサの花穂が短く直立するのに対し、アキノエノコログサの花穂が長く垂れ下がる、というものですが、ぱっと見ただけではわからない場合も多くあります。この他にも、小穂の大きさや葉表面の毛の有無、葉の付け根部分の形等から見分けるといった方法があるそうです。気になる方は調べてみると面白いかもしれません。

また、花穂の部分の毛の色は、キンエノコでは金色に、ムラサキエノコでは紫（赤色）がかかった色になります。

エノコログサ類の種子は、動物などの体にくっついて運ばれ（付着散布）、まだ植生が成立していない空き地などにいち早く侵入して群落を形成します。

エノコログサ類を防除するにあたって注意しておきたいことは、種子を形成してしまう前に防除することです。花穂をつけた後に防除しようとした場合、除草剤の効果が現れる前に種子が散布されてしまったり、刈り取りや集草の際に種子を撒き散らしてしまったりする恐れがあります（左図）。したがって、花穂の形成が始まる前に防除することが重要です。具体的には、秋～春にかけて土壌処理効果のある除草剤を散布するか、雑草生育初期に茎葉処理剤を使用すると良いでしょう。

製品紹介

ラポストフロアブル

芝にやさしくイネ科雑草に優れた効果を発揮



- 有効成分：カフェンストロール 40.0%
- 毒性：普通物
- 魚毒性：B類
- 原体メーカー：SDSバイオテック
- 包装：500ml/本、12本入り/ケース

- イネ科雑草に優れた土壌処理効果があり、一般に春処理で100日程度の抑草が期待できます。
- 日本芝に対して、根部への影響が少なく、張り芝の活着・ランナーの発生を妨げません。また、周辺樹木に対し、ほとんど影響がありません。
- 土壌吸着性が強く、流亡の可能性が低い薬剤です。

▶洋芝に対して薬害を生ずるおそれがあるため、使用しないでください。
▶カフェンストロールを含む農薬の総使用回数は2回以内です。

作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
日本芝	1年生イネ科雑草	雑草発生前	250～500ml	200～300L

カーブSC

発生初期のスズメノカタビラにも効果あり



- 有効成分：プロピザミド 36.0%
- 毒性：普通物
- 魚毒性：A類
- 原体メーカー：ダウ
- 包装：1L/本、10本入り/ケース

- 土壌に処理層を形成し、幼芽・幼根での細胞分裂を阻害します。
- 発生初期のスズメノカタビラにも効果を発揮します。
- 長い残効性をもち、秋期散布で120日以上効果が続きます。
- カーブ水和剤よりも有効成分の粒子が細かいため、分散性がよく、より安定した薬液が調合できます。(※これまで同様、よく攪拌してからご使用ください。)
- 液体なので計量がしやすく、取り扱いが容易です。

▶洋芝(特にベントグラス)に対して薬害を生ずるおそれがあるため、使用しないでください。
▶プロピザミドを含む農薬の総使用回数は2回以内です。

作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
日本芝	一年生雑草 (キク科を除く)	雑草発生前(芝生育期)	400～600ml	200～300L
	スズメノカタビラ	秋冬期雑草発生初期(芝生育期)		

ディクトラン乳剤

低薬量×残効性＝省力化



- 有効成分：ジチオピル 32.0%
- 毒性：普通物
- 魚毒性：B類
- 原体メーカー：ダウ
- 包装：500ml/本、10本入り/ケース

- 土壌に処理層を形成し、幼芽・幼根での細胞分裂を阻害します。
- メヒシバに対しては、出芽直後でも効果があります。
- 低い薬量で長い残効性を持ち、春処理で90～120日間、秋処理で120～150日間効果が持続します。
- 使用のタイミングにおける対象雑草の種類や要防除期間に合わせて薬量を調節して使用できます。

▶ジチオピルを含む農薬の総使用回数は2回以内です。

作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
日本芝	一年生雑草	雑草発生前	150～300ml	200～300L
	一年生イネ科雑草	春期雑草発生前	75～150ml	

取扱い・お問合せは—



緑を育み、未来へつなぐ

株式会社 サカイグリーン

〒930-0171 富山県富山市野々上150番地
TEL:076-434-0036 FAX:076-434-4968